

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 37 号	氏名	西岡 政道
学位審査委員	主査 熱田 充	副査 林 善彦	副査 原 宜興
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、可撤性義歯の付着力と義歯床のヌレ性が義歯床の表面粗さによってどのような影響を受けるのかを解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 代表的な義歯床用材料である Co-Cr 合金とアクリリックレジンを用いて、研磨条件を変えることで表面粗さの異なる試料を作製している。これら試料の表面粗さの実測値と液体とのヌレ性を表す指標である接触角の関係を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析し、Co-Cr 合金試料では表面粗さの減少に伴いヌレ性が低下したのに対して、アクリリックレジン試料では逆にヌレ性が向上したことを示した。これらの結果は、可撤性義歯の維持・安定の向上を図るためには使用材料によって義歯床粘膜面の研磨方法を考慮すべきことを示唆したもので、歯科補綴臨床および歯科技工学の進展に大きな意義を有する論文である。</p> <p>以上のように本論文は可撤性義歯装着患者の口腔機能の向上に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			